

OS交配

●ハウス● 3月～8月定植

キュウリ

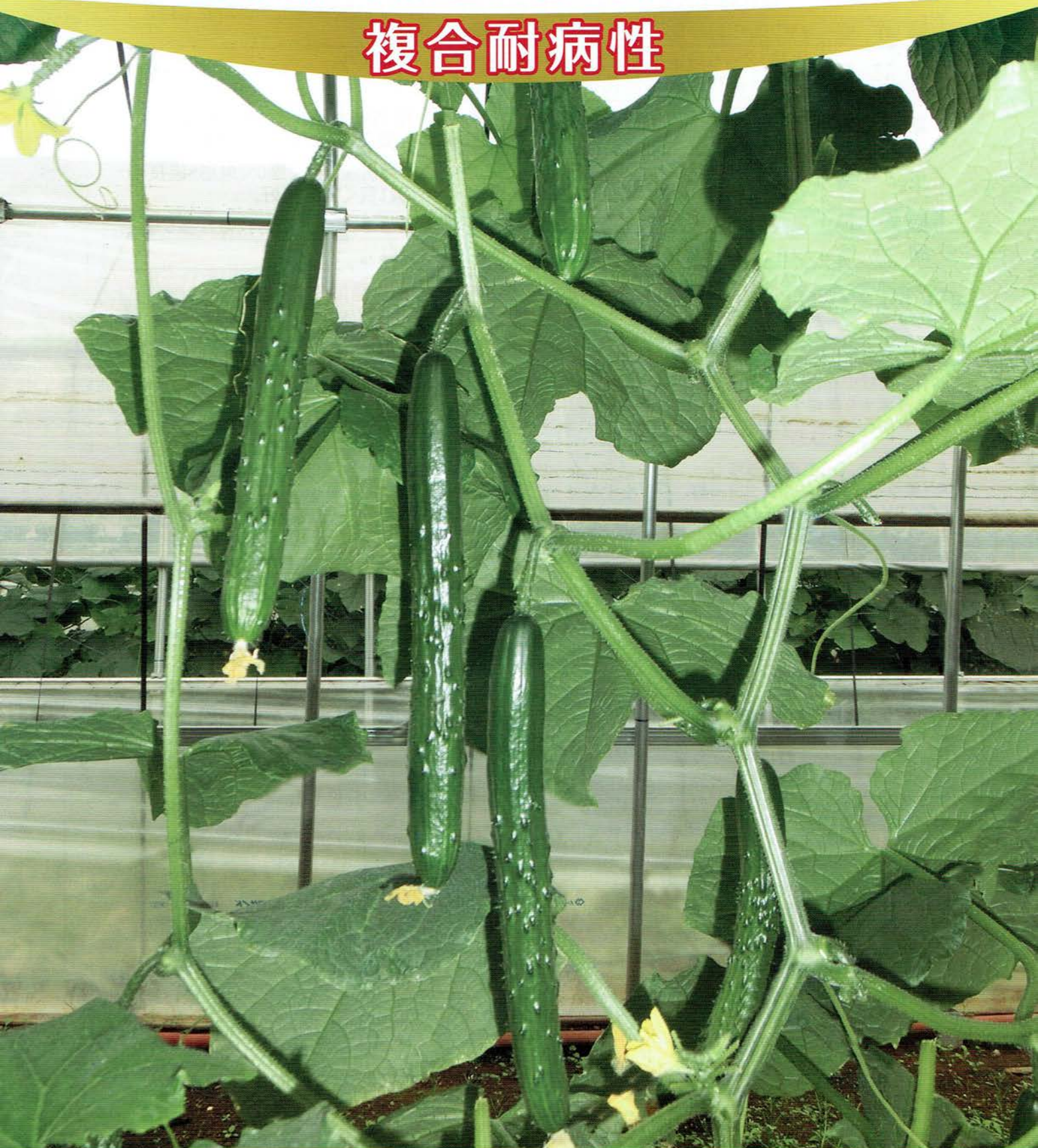


# はやか

## 681A

●ウドンコ病・褐斑病・べト病に極めて強い ●ヤケ果しにくい省力性品種

### 複合耐病性



株式会社 埼玉原種育成会

OS  
交配

はやか 681A



## 特性と栽培のポイント

### 特性

ウドンコ病・褐斑病の双方に強く、べト病にも強い。  
果形の安定性が高く、高温時期でも秀品収量が多く、ヤケ果も殆ど見られない。  
雌花の肥大を伴いながら枝発生し、繁茂しにくい。

適作型	ハウス:3月~8月定植 雨よけ 夏穫り 抑制
雌花率	主枝:3~5月定植 60%、6~8月定植 40%~50% 側枝~孫枝以降は雌花連続しやすい。1節1~2果成り。
草姿・草勢	初期生育はガッチリした草姿・草勢であるが、果実肥大が始まってからは、常に雌花の肥大を伴いながら枝発生するため、繁茂しにくい。(省力性)
果実	濃緑で光沢極良。100g果で21~22cm。首から尻までよく整い、果形・果長の安定性が高い。ヤケ果の発生は殆どない。歯切れ良く食感良好。
収量	果実肥大のテンポが良く、収穫期を通じて安定しているため総収量が多い。
耐病性	ウドンコ病・褐斑病の双方に強く、べト病にも強い。

### 栽培のポイント

整枝は強摘芯、摘み遅れを避けて、収穫最盛期以降は伸び続ける枝を4~6本確保し続けると良い。

#### 育苗

- 鉢育苗ではリン酸を含む腐植の多い良質床土を準備する。定植時に鉢土が崩れない程度の育苗日数をとる。
- 最適台木は、OS交配ゆうゆう一輝(黒タイプ)、オールスター一輝FGY、RK-3が適し、ブルーム台木では、ウルトラ9B南瓜が高い生産力を発揮させる。

#### 植え付け本数

- 節成り性が高い品種であるが、あまり密植しない事がコツとなる。3.3㎡あたりなら4~4.5株程度。

#### 施肥

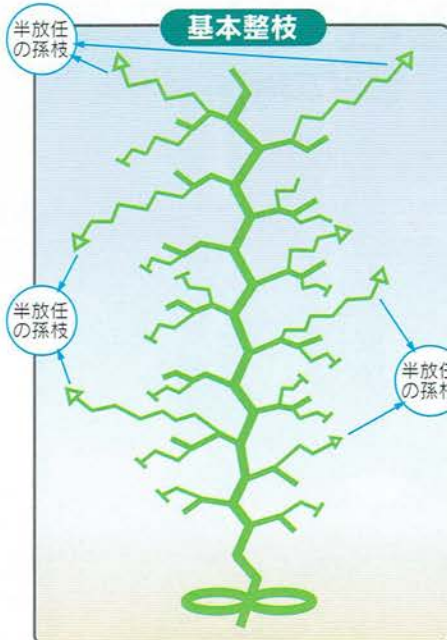
- 元肥は、量や質を一般に準じて良い。バランスの良い肥効が、その後の草勢や品質・収量に影響するので、必ず施用前には土壤検定による施肥設計を行うと良い。
- 追肥は、通常早めが良い。生育振りにも依るが収穫しようとする果実の開花より4~5日後、抑制では主枝の摘芯時等が追肥始めの目安となる。少量ずつこまめに施用すると良い。

#### 灌水

- 定植2~3日前に十分灌水しておき、定植当日に土中水分の過不足がないように準備する。定植後乾き易い抑制では、根量が増え日々生長が活発になってくるまでは多めの灌水をする。各作型とも旺盛に生育できるよう活着後も水を余り切らず、順調に側枝が発生し葉の展開がスムーズに行くよう適宜灌水していく。

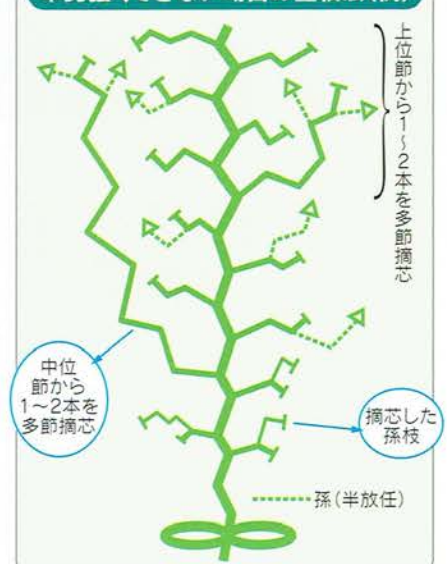
#### 摘葉及び整枝法

- 収穫最盛期を過ぎる頃から、古い日陰葉や込み過ぎた部位を一回あたり1~2枚を限度として摘葉すると良いが、常に全体に亘り収穫果が見え隠れする程度に整える。
- ※草勢が弱ったときに、早摘みをしないこと。
- ※抑制では、特に後半の保温をしっかりに対応する。



①側枝は下節位を1節、中~上位節を2節で摘み、孫枝を半放任とする。

#### 株間・畝間が広い場合や草勢強くできない場合の整枝法(例)



②中~上位節から発生してくる側枝を機械的に1~2節で摘芯せずに、3~4本は多節摘芯(3~5節)として、早めに株の立体作りを目標とする。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元  
株式会社 埼玉原種育成会  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元  
株式会社 シード  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407